

教育委員会

教育行財政	- 1
学校教育	- 3
社会教育・文化財	- 15
博物館	- 17
図書館	- 22
市民スポーツ	- 26
青少年行政	- 29
人権教育	- 34
教育センター	- 36

教育行財政

教育委員会開催状況

(16年)

会 議	議 案 件 数
15回	37件

審議状況

(16年)

	条 例	規 則	規 程	要 綱
制 定	3 件	1 件	件	件
廃 止				
改正 (全部)				
" (一部)	5	6		

市内の教育機関

(平成17年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	校	人	校	人	1校	1,409人	1校	1,409人
高校全日制			9	6,991	3	2,671	12	9,662
定 時 制			2	597			2	597
通 信 制			1	1,206	1	493	2	1,699
中 学 校	22	8,470			3	929	25	9,399
小 学 校	40	18,432			1	478	41	18,910
幼 稚 園	24	1,631			15	3,431	39	5,062

教育費

(単位：千円)

費 目	平成14年度	15	16 (見込)	17 (当初)
教 育 費 (A)	10,557,259	9,391,623	9,040,282	10,486,096
教 育 総 務 費	1,931,012	1,912,827	1,899,843	1,685,375
小 学 校 費	3,538,753	3,013,761	2,712,087	3,040,383
中 学 校 費	1,273,332	974,517	1,041,837	2,624,745
幼 稚 園 費	994,232	997,079	989,038	1,150,608
社 会 教 育 費	2,120,512	1,920,109	1,858,967	1,133,179
保 健 体 育 費	699,418	573,330	538,510	851,806
一 般 会 計 歳 出 額 (B)	91,523,189	89,595,921	95,484,067	93,290,000
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	11.5%	10.5%	9.5%	10.2%

平成14～16年度は決算額、17年度は予算額

児童 1 人当たり教育費

(単位：円)

	平成14年度	15	16 (見込)	17 (当初)
中学校	91,345	81,057	86,770	89,667
小学校	126,123	113,670	116,558	118,632
幼稚園	97,152	92,393	87,144	101,778

いずれも建設関係費を除く。平成14～16年度は決算額、17年度は予算額

学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

事業	年度	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
		校	事業費	校	事業費	校	事業費
小学校	校舎新增築	-	-	2	264,738	-	-
	危険等校舎改築	1	481,025	-	-	-	-
	バリアフリー化改修	3	65,015	3	81,595	-	-
	耐震補強	3	212,404	7	165,707	11	184,021
	給食室改修	5	143,978	2	43,667	3	113,062
中学校	バリアフリー化改修	2	54,266	2	46,300	2	57,759
	耐震補強	1	35,363	5	152,584	6	132,001
幼稚園	園舎等整備	-	24,931	-	26,587	-	26,459

学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	教材備品等	60,776	277	1,210	809	28,641	
	管理備品	45,356	276	143,388	810	12,656	
	保健備品	1,570		16,848		1,161	
	給食備品	28,285	6,427	8,706	5,862	11,978	10,856
	なかよし給食					1,147	
中学校	教材備品等	44,629		35,290		21,533	
	管理備品	23,003		7,247		5,134	
	保健備品	694		736		666	
	給食備品	0		0		0	
幼稚園	保育・管理備品	7,021		5,527		5,211	
	保健備品	341		93		187	
合計		211,327	6,980	129,045	7,481	88,310	10,856

学校教育

学校教育ビジョン

基本方針 新しい時代をたくましく切り拓いていく子どもの育成

自分で生活・学習していこうとする力の育成 <自立>

他とともに生活したり学んだりしていこうとする力の育成 <共生>

自分の生き方や学び方の質をさらに高めようとする力や向上心の育成 <チャレンジ>

めざす子どもの姿

生きる力

確かな学力 基礎的・基本的な学力を着実に習得し、健全な社会人として生きるための基礎・基本を身につけた子ども

健康・体力 たくましく生きるための健康や体力を備えた子ども

豊かな人間性 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を備えた子ども

共に生きる力

コミュニケーション力

他の意見を聞き、自分の思いを伝える力を身につけた子ども互いに向上する人間関係

互いに切磋琢磨し向上しようとする子どもたち

平成17年度学校教育指導方針

指導の力点 ・ 生きる力・共に生きる力の育成

- ・ 保護者・地域の信頼に応え、共につくる園・学校
- ・ 教職員の資質・能力の向上

具体方針 ・ 生きる力・共に生きる力の基礎を育成する。

- ・ 連携を重視した園運営を推進する。
- ・ 自ら学び自ら考える力を育成する。
- ・ 豊かな人間性を育成する。
- ・ 健康な心と体を育成する。
- ・ 社会の変化に対応し、主体的に生きる力を育成する。
- ・ 障害のある子どもの自立し社会参加するための力を育成する。
- ・ 人権を尊重し、差別をなくす実践力を育成する。
- ・ 家庭や地域の信頼に応える学校づくりを推進する。
- ・ 教職員の実践的指導力を高める効果的な研修を実施する。
- ・ 家庭・地域との対話を大切にしたい、共に進める子育てを推進する。

市内児童・生徒数の推移（公立）

年度	幼稚園			小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成8	715	754	1,469	9,793	9,155	18,948	4,909	4,669	9,578
9	722	733	1,455	9,703	8,867	18,570	4,860	4,649	9,509
10	770	724	1,494	9,496	8,826	18,322	4,818	4,580	9,398
11	746	721	1,467	9,322	8,627	17,949	4,663	4,443	9,106
12	794	691	1,485	9,174	8,633	17,807	4,671	4,237	8,908
13	743	736	1,479	9,119	8,579	17,698	4,636	4,179	8,815
14	706	771	1,477	9,069	8,490	17,559	4,521	4,111	8,632
15	798	753	1,551	8,920	8,519	17,439	4,378	4,028	8,406
16	746	735	1,481	8,991	8,571	17,562	4,269	3,997	8,266
17	804	827	1,631	9,455	8,977	18,432	4,411	4,059	8,470

特別支援教育

平成17年度は、小学校に知的障害学級34校、情緒障害学級24校、難聴学級1校、肢体不自由学級15校、中学校に知的障害学級14校、情緒障害学級11校、難聴学級1校、肢体不自由学級3校で、総計59校に103学級の障害児学級を設置し、そこに在籍する児童・生徒数は288人である。

また、通級言語教室が小学校1校に設けられている。

障害児学級設置状況

(1)小学校

(平成17年4月1日現在)

校名	学級	児童数	教員	内 容	校名	学級	児童数	教員	内 容
中部西	1	4人	1人	難 聴	大矢知興讓	2	8人	2人	情緒障害・知的障害
浜 田	2	5	2	情緒障害・肢体不自由	八 郷	1	3	1	知 的 障 害
東橋北	2	4	2	知的障害・肢体不自由	下 野	2	8	2	知的障害・肢体不自由
海 蔵	2	7	2	知的障害・情緒障害	保 々	3	4	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由
塩 浜	3	7	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	水 沢	3	5	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由
三 浜	1	6	1	知 的 障 害	高花平	2	6	2	知的障害・情緒障害
富 田	3	9	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	泊 山	2	9	2	知的障害・情緒障害
富洲原	2	11	2	知的障害・情緒障害	笹川東	1	3	1	情 緒 障 害
羽 津	3	14	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	常磐西	3	8	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由
常 磐	3	9	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	笹川西	1	3	1	知 的 障 害
日 永	2	5	2	知的障害・情緒障害	三重西	2	6	2	知的障害・情緒障害
四 郷	3	11	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	大谷台	2	6	2	知的障害・情緒障害
内 部	1	2	1	知 的 障 害	桜 台	2	6	2	知的障害・情緒障害
小山田	2	5	2	情緒障害・肢体不自由	三重北	1	3	1	知 的 障 害
河原田	1	2	1	知 的 障 害	八郷西	1	2	1	知 的 障 害
川 島	2	4	2	知的障害・情緒障害	羽津北	2	4	2	知的障害・情緒障害
神 前	1	2	1	知 的 障 害	内部東	2	4	2	知的障害・肢体不自由
桜 県	3	9	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	中 央	1	1	1	知 的 障 害
三 重	1	4	1	知 的 障 害	楠	1	2	1	情 緒 障 害
三 重	2	5	2	知的障害・肢体不自由	合 計	74	216	74	

表以外に通級言語教室には通級児童が49人いる。

(2)中学校

校名	学級	生徒数	教員	内 容	校名	学級	生徒数	教員	内 容
中 部	2	4人	2人	難 聴 ・ 知 的 障 害	保 々	1	2人	1人	情 緒 障 害
橋 北	1	1	1	情 緒 障 害	常 磐	2	6	2	知 的 障 害 ・ 情 緒 障 害
港	1	2	1	情 緒 障 害	西 陵	2	3	2	情緒障害・肢体不自由
塩 浜	1	3	1	知 的 障 害	富 田	1	3	1	情 緒 障 害
山 手	2	5	2	知的障害・情緒障害	富洲原	1	5	1	情 緒 障 害
笹 川	2	4	2	知的障害・情緒障害	羽 津	1	4	1	知 的 障 害
南	2	8	2	知的障害・情緒障害	西朝明	1	2	1	知 的 障 害
三 滝	2	2	2	知的障害・肢体不自由	桜	2	3	2	情緒障害・知的障害
大 池	2	5	2	知的障害・肢体不自由	内 部	1	5	1	知 的 障 害
三重平	1	4	1	知 的 障 害	楠	1	1	1	知 的 障 害
					合 計	29	72	29	

保健・給食

児童生徒の心身の健全な育成と学校教育の成果をあげるため、児童生徒をとりまく環境の整備と、学校における諸条件の充実に努めている。

米飯給食については、昭和52年5月から開始し、昭和56年6月から週2回、平成14年度から週2.5回実施している。

平成17年2月の合併に伴い、楠中と楠北幼・楠南幼で実施している給食については、5年の間に検討していくことになっている。

1. 学校給食実施状況

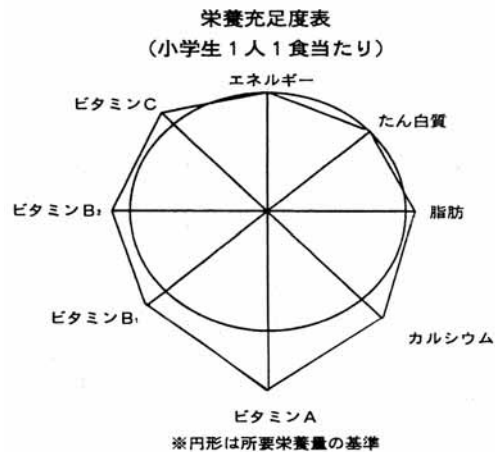
(平成17年度)

区 分		小 学 校	中 学 校	幼 稚 園	中学校(ミルク給食)
実 施 校 数		40校	1校	2園	21校
対 象 人 員		19,800人	348人	202人	8,150人
調 理 員 数		212人			
1食当たり額	パ ン	46円22銭			
	米 飯	56円63銭			
	牛 乳	41円92銭			41円92銭
	パン副食	127円51銭			
	米飯副食	117円10銭			
1食当たり経費		215円65銭	246円67銭	196円84銭	
年間実施予定回数		190回	165回	190回	102回
徴 収 額 (1ヶ月)	高 学 年	3,800円	3,700円	3,400円	(年額) 4,300円
	低 学 年	3,650円			

調理員内訳 正職員67人 6時間パート142人 4時間パート3人

2. 栄養摂取量 (小学校) (平成16年度)

エ ネ ル ギ ー		635kcal
た ん 白 質		25.6g
脂 肪		21.4g
カ ル シ ウ ム		342mg
ビ タ ミ ン	A	350 μgRE
	B ₁	0.47 mg
	B ₂	0.62 mg
	C	28 mg



3. 学校災害件数及び医療費給付額

(金額単位：千円)

区分	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
幼稚園	85	694	64	726	80	551	83	598
小学校	1,230	10,892	1,102	35,266	1,174	10,822	1,175	9,690
中学校	950	11,050	1,025	12,331	1,045	12,483	1,097	11,867
合計	2,265	22,635	2,191	48,322	2,299	23,856	2,355	22,155

4. 保健担当者一覧

(平成17年5月1日現在)

職名	配置状況	員数
学校医	1校・園1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	64人
学校歯科医		87人
学校薬剤師	小学校18人、中学校8人	26人
保健主事	各小・中学校1人	62人
養護教諭	〃(常磐小・日永小・大矢知興譲小各2人) (富洲原小巡回養護を含み2人)	66人

5. 児童・生徒の体格平均値比較

(1) 小学校

(平成16年度)

区分		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		男	女	男	女	男	女
6 歳	四日市市	116.1	115.6	20.9	20.7	64.8	64.6
	三重	116.5	115.5	21.6	20.9	65.0	64.7
	全国	116.8	115.8	21.6	21.1	65.0	64.0
7 歳	四日市市	122.1	121.0	23.8	23.2	67.6	67.2
	三重	122.7	121.8	24.3	23.4	67.8	67.5
	全国	122.6	121.6	24.3	23.6	67.8	67.3
8 歳	四日市市	127.7	126.8	26.7	25.9	70.1	69.9
	三重	127.9	127.3	27.2	26.1	70.2	70.0
	全国	128.1	127.5	27.5	26.7	70.3	70.1
9 歳	四日市市	132.8	132.8	30.2	29.4	72.4	72.4
	三重	133.1	133.4	30.7	29.8	72.5	72.8
	全国	133.5	133.5	31.0	30.3	72.7	72.8
10 歳	四日市市	138.6	139.5	34.1	33.9	74.8	75.6
	三重	138.7	140.3	34.4	34.6	75.1	76.2
	全国	138.9	140.2	34.7	34.5	75.1	75.9
11 歳	四日市市	144.5	146.0	38.3	38.3	77.5	78.7
	三重	144.9	146.9	38.9	39.9	77.8	79.4
	全国	145.1	146.9	39.0	39.6	77.8	79.4

(2) 中学校

(平成16年度)

区 分		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		男	女	男	女	男	女
12 歳	四日市市	151.6	151.3	43.8	43.2	80.9	82.0
	三重県	152.2	151.8	44.6	44.4	81.3	82.3
	全国	152.6	152.1	44.9	44.5	81.3	82.2
13 歳	四日市市	158.8	154.7	48.3	47.1	84.6	83.8
	三重県	159.5	155.2	49.4	47.5	84.9	83.9
	全国	159.9	155.2	50.1	48.0	85.0	83.9
14 歳	四日市市	164.8	156.0	53.8	49.7	88.0	84.7
	三重県	165.3	156.5	54.6	50.0	88.1	84.8
	全国	165.3	156.7	55.2	50.7	88.0	84.8

6. 小中学校自然教室

野外活動を通して、自然にふれる楽しさを味わうとともに、集団生活を通して人間的ふれ合いを深め、相互の理解と信頼を高めることを目的にしている。また、生きる力の基盤となる様々な体験活動を通して、自己判断力、自律性、協調性を身につけることに役立っている。

区 分	小 学 校	中 学 校
実 施 期 間	6月14日～11月30日	4月21日～2月28日
対 象 校	40校(3,028人)	22校(3,129人)
実 施 場 所	四日市市少年自然の家	四日市市少年自然の家 鈴鹿青少年センター等

中学校卒業生進路状況

(各年5月1日現在)

年 度	進 学 者		就 職 者、他		合 計	
	人	%	人	%	人	%
平成4	3,578	95.5	170	4.5	3,748	100.0
5	3,405	96.7	117	3.3	3,522	100.0
6	3,353	96.5	121	3.5	3,474	100.0
7	3,168	97.1	93	2.9	3,261	100.0
8	3,039	96.4	115	3.6	3,154	100.0
9	3,029	97.2	88	2.8	3,117	100.0
10	3,163	96.8	106	3.2	3,269	100.0
11	2,978	96.9	95	3.1	3,073	100.0
12	2,930	96.8	96	3.2	3,026	100.0
13	2,903	97.0	92	3.0	2,995	100.0
14	2,962	96.7	102	3.3	3,064	100.0
15	2,818	96.8	94	3.2	2,912	100.0
16	2,820	97.4	74	2.6	2,894	100.0

奨学金事業

1. 貸与内容 (平成16年度)

名 称		四日市市奨学会
対 象 者		経済的理由により、修学困難な四日市市民又はその子。
貸与額	大学、短大、 専修学校(専門課程)	23,000円/月、入学支度金 35,000円 貸与総額 25,711千円
	高校、高専、 専修学校(高等課程)等	11,000円/月、入学支度金 30,000円 貸与総額 2,304千円

2. 貸与状況 (新規貸与者数)

年 度	高校生 (専修学校)	大学生 (専修学校)	合 計
平成7	7	27(4)	34(4)
8	7	28(4)	35(4)
9	6	30(3)	36(3)
10	6	24(1)	30(1)
11	6	23(3)	29(3)
12	6	26(3)	32(3)
13	8	26(3)	34(3)
14	14	28(1)	42(1)
15	10	37(4)	47(4)
16	2	27(3)	29(3)

()は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

事 項	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
	貸与の必要がなくなった日から 1年を経過した日の翌日	10年を限度	半年賦 又は年賦	毎 年 度 (4月1日～3月31日)

私学助成

(平成17年度)

私立学校の教育条件の維持向上並びに経営の健全性を高める次の助成措置を行う。

区 分	運営費補助 (設置者補助)	建設費補助	教員研修費補助
幼稚園	1園年額 405,000円 + 440円 × 園児数 + 670円 × 園児数	要綱補助	(園長 + 教員) × 10,000円
小学校	市内在住児童 1人年額 4,500円	予算補助	
中学校	市内在住生徒 1人年額 4,500円	予算補助	
高等学校等	市内在住生徒 1人年額 4,500円	予算補助	

就学援助

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

16年度実績

(単位：円)

区 分	金 額
小学校	93,834,957
中学校	44,573,667
計	138,408,624

就園奨励

幼稚園教育の振興を図るため、市内の公私立幼稚園に就園する園児の保護者(四日市市民)に対し、世帯の経済状況に応じ、入園料・保育料の減免措置を講じる。

外国人英語指導員招致事業

本市と姉妹提携を結んでいる米国・ロングビーチ市の青年や文部科学省等の事業に参加した青年を招致し、市内中学校の英語指導員として中学校の英語学習並びに英語教員の語学(英会話)研修などの指導にあたる。また、小中学校での国際理解教育の推進にも役立てる。

1. 人 数 ・ 11 名
2. 対 象 ・ 市内全中学校、国際理解教育の推進小学校
3. 職務内容 ・ 日本人英語教師とともに中学生の英語学習指導にあたる
 ・ 中学校英語教員の語学研修講師を務める
 ・ 小中学校での国際理解教育の推進にあたる
 ・ 市職員の英会話研修の講師を務める

市立幼稚園施設

(平成17年5月1日現在)

園名	所在地	創立年月日	教職員数	園児数	学級数
四日市	元町 10 4	明 28.10.1	2 (4)	64	2
富田	富田 1 丁目 24 26	大 15. 7. 3	2 (3)	53	2
泊山	前田町 1 19	昭 21.11. 4	4 (5)	131	4
海蔵	大字東阿倉川 580	昭 22. 6.18	5 (3)	107	4
納屋	蔵町 5 8	昭 28.10.26	3 (2)	31	2
内部	采女町 911	昭 29. 5. 1	4 (4)	130	4
川島	川島町 1725 1	昭 29. 4.10	2 (4)	70	2
神前	高角町 338 1	昭 28. 4.10	4 (1)	38	2
三重	東坂部町 110 1	昭 29. 5. 5	2 (3)	35	2
橋北	高浜町 1 4	昭 31. 5.10	2 (1)	21	1
保々	西村町 2738	昭 31. 4.10	4 (4)	68	3
下野	朝明町 464	昭 37. 4. 1	2 (3)	49	2
羽津	大宮西町 19 22	昭 40. 4. 1	5 (3)	107	4
富洲原	富洲原町 31 14	昭 41. 4. 1	4 (4)	81	4
高花平	高花平 2 丁目 1 56	昭 44. 4. 1	2 (3)	40	2
大矢知	大矢知町 3255	昭 46. 4. 1	2 (4)	60	2
八郷中央	千代田町 265 1	昭 47. 4. 1	2 (3)	41	2
桜	桜町 1420	昭 48. 4. 1	5 (2)	92	4
常磐中央	ときわ五丁目 4 53	昭 49. 4. 1	6 (4)	99	4
塩浜	大字塩浜 887 1	昭 50. 4. 1	2 (0)	9	1
笹川中央	笹川三丁目 157	昭 52. 4. 1	4 (4)	78	4
三重西	三重三丁目 130	昭 52. 4. 1	3 (2)	42	2
楠北	楠町北五味塚 2060 - 63	昭 39. 4.	6 (3)	128	5
楠南	楠町南五味塚 275 - 1	昭 45.11. 5	3 (1)	57	2
合 計〔24園〕			80 (70)	1631	66

()は嘱託、臨時等で外数

用務員は、教職員数からは除く

橋北幼及び塩浜幼は、混合1クラスで算出

市立学校施設

1. 小学校

(平成17年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数	児童数	学級数	教室数	
						普通	特別
中部西	北町 2 23	明 5.3.15	人 24	人 366	12 (1)	14	6
浜田	北浜田町 13 6	明 8.9.20	24	487	16 (2)	20	7
西橋北	川原町 25 22	大 5.5.20	13	194	7 (0)	12	6
東橋北	東新町 26 32	昭 11.8.21	13	97	6 (2)	10	6
海蔵	大字東阿倉川 578 1	明 8.7.1	31	660	22 (2)	25	6
塩浜	塩浜町 1	明 8.11.2	20	260	10 (3)	16	7
三浜	海山道町一丁目 1532-1	昭 31.4.1	13	137	6 (1)	11	6
富田	富田一丁目 24 49	明 20.7.1	29	547	18 (3)	30	7
富洲原	富洲原町 31 14	明 9.9.30	32	672	22 (2)	25	8
羽津	大宮町 16 35	明 7.5.10	24	433	13 (3)	24	6
常磐	城西町 9 14	明 8.12.5	44	881	27 (3)	32	8
常磐西	大字松本 764	昭 48.4.1	33	693	22 (3)	24	6
日永	日永四丁目 5 13	明 8.11.10	36	690	23 (2)	25	6
泊山	大字日永 5530 19	昭 46.4.1	26	474	16 (2)	17	6
四郷	西日野 3207 1	明 9.2.4	24	452	14 (3)	17	6
笹川東	笹川六丁目 25	昭 48.4.1	20	297	11 (1)	21	6
笹川西	笹川五丁目 62	昭 50.4.1	21	339	12 (1)	24	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38.5.7	21	343	12 (2)	13	6
内部	采女町 888 1	明 7.2.3	33	725	23 (1)	27	7
小山田	山田町 1373 1	明 8.12.1	19	253	10 (2)	12	6
河原田	河原田町 70	明 8.11.9	19	289	12 (1)	14	6
川島	川島町 2046	明 8.11.28	34	761	23 (2)	29	7
神前	曾井町 493 1	明 8.2.4	22	306	12 (1)	15	6
桜	桜町 1257	明 8.7.1	30	567	18 (3)	28	7
梶	赤水町 1002	明 7.5.4	24	478	16 (1)	23	6
三重	東坂部町 222 2	明 8.11.1	23	434	15 (2)	18	6
三重西	三重三丁目 129	昭 50.4.1	24	397	14 (2)	13	6
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50.4.1	29	590	18 (2)	17	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7.3.16	41	826	27 (2)	29	7
八郷	平津町 99 1	明 25.6.1	30	676	21 (1)	23	8
下野	朝明町 475 1	明 9.3.1	24	513	16 (2)	23	6
保々	西村町 2741	明 7.4.25	30	491	17 (3)	19	6
水沢	水沢町 2491	明 8.12.4	16	212	7 (3)	11	6
桜台	桜台一丁目 32	昭 52.4.1	22	440	14 (2)	21	6
三重北	山之一色町 90	昭 53.4.1	17	251	9 (1)	24	6
八郷西	萱生町 1086	昭 53.4.1	13	204	6 (1)	11	6

羽津北	大字羽津 500	昭 57.4.1	28	484	17 (2)	19	6
内部東	采女町 423 4	昭 59.4.1	29	568	20 (2)	24	6
中央	元新町 2 36	平 7.4.1	19	274	11 (1)	13	7
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8.11.20	29	671	20 (1)	28	8
合 計〔40校〕			1003	18432	615 (74)	821	256

2. 中学校

(平成17年5月1日現在)

校 名	所 在 地	創立年月日	教職員数	生徒数	学級数	教 室 数	
						普通	特別
中部	西浦二丁目 5 36	昭 22.4.15	31	341	10 (2)	15	8
橋北	高浜町 1 4	昭 22.4.15	16	138	5 (1)	10	8
港	十七軒町 10 41	昭 22.4.15	21	264	9 (1)	18	10
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22.4.15	19	170	6 (1)	13	9
山手	大字東阿倉川 70	昭 22.4.15	34	556	16 (2)	23	9
富田	東茂福町 4 19	昭 22.4.15	22	295	9 (1)	15	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3 10	昭 22.4.15	22	279	9 (1)	16	8
笹川	西日野町 268 2	昭 22.4.15	27	355	11 (2)	18	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51.4. 1	23	343	10 (0)	20	9
常磐	大字松本 810	昭 48.4. 1	39	649	19 (2)	23	10
南	前田町 18 17	昭 22.4.15	38	574	17 (2)	25	9
三滝	高角町 2068 2	昭 22.4. 1	26	366	12 (2)	16	8
大池	下海老町 2662 1	昭 22.4. 1	29	483	15 (2)	24	9
朝明	平津町 409 2	昭 22.4. 1	33	632	18 (0)	20	9
西陵	西山町 7229	昭 51.4. 1	21	242	8 (2)	12	8
保々	西村町 2787 2	昭 22.4.15	19	223	9 (1)	10	8
三重平	三重八丁目 1	昭 52.4. 1	21	250	9 (1)	15	8
羽津	大字羽津甲 26	昭 54.4. 1	27	456	14 (1)	16	8
西朝明	北山町 1169	昭 54.4. 1	26	355	12 (1)	16	8
桜	桜町 1064	昭 57.4. 1	39	613	18 (2)	23	9
内部	波木町 697	昭 60.4. 1	33	566	16 (1)	19	8
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22.4.15	22	320	10 (1)	15	10
合 計〔22校〕			588	8470	262 (29)	382	189

()内は障害児学級数を示した外数
用務員・調理員は教職員数から除く

市内私立文教施設

1.私立小・中学校

(平成17年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数	児 童 ・ 生 徒	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3 37	昭23	39人	478人	17
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	34	513	13
海 星 中 学 校	追分一丁目9 34	昭31	36	246	9
メリノール女子学院中学校	平尾町2800	昭38	36	170	6
合 計〔4校〕			145	1,407	45

教員数には兼務者を含む

2.私立幼稚園

(平成17年5月1日現在)

園 名	所 在 地	創 立 年 月 日	教 員 数	園 児 数	学 級 数
暁	天ヶ須賀五丁目2-5	昭21	13人	206人	9
双 葉	三栄町5 3	昭12	2	2	1
工 ン ゼ ル	千代田町459	昭31	21	479	16
富 田 文 化	大字茂福905 4	昭35	11	149	8
羽 津 文 化	別名五丁目4 31	昭46	13	219	11
ひ か り	伊倉二丁目8 23	昭36	15	252	10
ま き ば	松本三丁目2 16	昭46	11	123	7
海の星カトリック	十七軒町2 4	昭39	5	68	3
あ お い	大矢知町2700	昭42	36	479	17
桜 あ お い	智積町6104	昭53	25	329	11
と き わ	西松本町15 10	昭44	20	260	9
津 田 第 一	笹川一丁目106-2	昭47	21	377	14
津 田 第 二	笹川七丁目52	昭49	15	187	8
津 田 三 滝	川島町6513	昭53	16	200	8
め ぐ み の 園	室山町475 1	平 7	10	101	4
合 計〔15園〕			234	3,431	136

教員数には兼務者を含む

社会教育・文化財

社会教育

機構改革によって生涯学習課が担っていた地区市民センターを中核とする地域の社会教育活動や市民大学、生涯学習いきいき出前講座、なや学習センターの活用など生涯学習の機会提供が、あらたに設けられた市民文化部市民文化課の所管となり、社会教育団体の支援等が、教育委員会の所管する社会教育となった。

<平成16年度主要事業>

(1) 社会教育関係団体の支援

婦人会、PTAがそれぞれの設立目的にあった活動ができるよう支援した。

(2) 学校施設(教室)開放の推進

住民の学習活動、地域活動を推進するため、学校施設の教室開放を行った。

(3) 子どもの読書活動推進

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行されたことを受け、その推進計画を作るべく学校関係者や読み聞かせボランティア、学識経験者などによる策定会議を4回開き、また中間案に対する市民からの意見も募集した後、平成17年3月31日に「四日市市子どもの読書活動推進計画」を策定した。この間、秋の読書週間にちなみ市立博物館を会場にして児童文学翻訳家による講演会や読み聞かせサークルによる絵本劇場を開催した。

(4) その他

成人式企画委員会を設置し、記念式典のほか、中学校時代の恩師招待などを行った。

(1月9日 四日市市文化会館 参加者数 約2,200人)

文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保護・活用は、市民が自己を高め生きがいをもって暮らせる街づくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保護するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努める。

1 文化財の指定

- ・ 釈迦如来坐像(暁覚寺) (市指定有形文化財 平成16年8月19日指定)
- ・ 十一面観音菩薩立像(安性寺) (市指定有形文化財 平成16年8月19日指定)

2 文化財の整備・維持管理

- ・ 指定文化財の修理・整備

重要文化財「慈恵大師坐像」収蔵庫、県指定有形民俗文化財「鯨船山車(明神丸)」収蔵庫、市指定無形民俗文化財「大念仏」太鼓の修理に対して補助

- ・文化財説明板の修理・整備

取り替え

- ・市指定文化財「志氏神社古墳」

新規

- ・市指定有形文化財「釈迦如来坐像」
- ・市指定有形文化財「十一面観音菩薩立像」

- ・文化財指定地などの除草・清掃

御池沼沢植物群落・東阿倉川イヌナシ自生地・西阿倉川アイナシ自生地・広古墳A群・旧四日市市役所四郷出張所・天武天皇迹太川御遙拝所跡・茂福城跡・冠山茶の木原

- ・文化財パトロール

埋蔵文化財や天然記念物などの現状及び環境保全の状況把握を行う調査(埋蔵文化財担当調査員10人・天然記念物担当調査員3人)

3 文化財保護の普及・啓発

- ・文化財防火デー(文化財収蔵施設の予防査察と消防訓練)
- ・発掘展(四日市市立博物館 7/21~8/29)
- ・発掘出土品の展示(四日市市役所ロビー)
- ・発掘調査現地説明会

4 埋蔵文化財の発掘調査等

開発計画地内に所在する遺跡で、現状保存が困難なものについて発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、文化財整理作業所において出土遺物の整理・復元作業や保管・展示を行っている。

- ・発掘調査...久留倍遺跡など6遺跡
- ・試掘調査...下之宮遺跡など6遺跡
- ・工事立会...雲天遺跡など43遺跡

博物館

近年の急激な社会情勢の変貌は、市民の郷土や風土に対する学習意欲を高めるとともに、余暇時間の増大をもたらし、生涯学習をますます重要なものとしつつあるが、その反面、長く残されてきたかけがえのない文化遺産を消滅の危機に追いやっているのが現状である。

こうしたことから、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして博物館を設置し、平成5年11月1日に開館した。

なお、博物館には、内径18.5mの傾斜型ドームのプラネタリウムを併設しており、市民を宇宙の神秘へ誘うとともに、天文知識の普及と啓発に努めている。

基本理念

1 市民の創造性を高めます。

これからの豊かなまちづくりには市民の創造性が必要です。文化の振興によって創造性豊かな人材を養成し、市民の活力を引き出して都市の力を高め、市外からも創造的な人材が集まるようにして魅力ある都市を形成していくことが理想です。その実現のために四日市市の文化資産のひとつである市立博物館は、市民一人ひとりの多様な個性に対応し、文化の多様性を認め合いながら、それぞれがより豊かな個性に育っていくよう、多彩な内容のものを学習できる機会を作っていきます。これまで地域に培われてきた文化を伝えるだけでなく、市民一人ひとりの個性の創造に寄与してその成果として現れる新たな文化の創造に尽くしていきます。

2 郷土を大切にすることを育みます。

郷土から世界の国々、果ては宇宙に至る多様な自然、歴史や文化について、様々な角度から取り上げます。直接あるいは他地域との違いにより間接的に郷土に対する市民の理解を深め、そのことにより、よりよいまちづくりの基盤を形成し、郷土を大切にすることを育むとともに、他の地域や外国との発展的な関係を生む基礎を形成します。

3 世代をつなぎます。

これまで当博物館は、公立の施設としての特色を活かして、郷土の先人が創り出した文化遺産を保全し、知識を蓄えてきました。これらは、郷土のかけがえのない文化的財産であり、今後もこれらの蓄えを増やし、効果的に運用しながら確実に次の世代に引き継ぎ、世代と世代をつないでいきます。また、これらの文化的財産を活用した世代間の交流の場をもち、永続的に市民文化を継承するとともに、この地域の新たな特色ある文化の創造に寄与します。

4 歴史を未来に活かします。

四日市市立の当博物館は、四日市市の行政組織のひとつとして、これまでに蓄えた歴史的資料や知識、施設を活用し、われわれが現在直面している様々な問題について考える場としての役割を担い、よりよいまちづくりを目指します。

5 学校教育をより豊かなものにします。

学校教育のカリキュラムに対応した展示やプラネタリウム投映を実施し、教科書では行うことのできない方法で子どもたちに歴史や自然科学を体験させ、教室での授業をより豊かなものとします。また、質の高い文化・芸術にふれることにより、豊かな人間性を備えた子どもが育成されるよう学校教育を支援します。

施設概要

敷地面積	1,845.84m ²	
建築面積	1,590.40m ²	
延床面積	10,147.11m ²	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建	
	6階	373.48m ² プラネタリウム
	5階	1,340.81m ² プラネタリウム、天文展示コーナー、天文学習室
	4階	1,343.05m ² 特別展示室
	3階	1,251.01m ² 常設展示室、サルビアギャラリー
	2階	1,321.33m ² 常設展示室、市民ギャラリー
	1階	1,466.32m ² エントランスホール、講座室、ショップ、情報コーナー
	地下1階	1,536.71m ² 収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40m ² 収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室
総事業費	7,556,038千円	

博物館の事業

・常設展

基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代に至る“四日市のあゆみ”をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1からテーマ6に分けて展示している。

常設展示内のサルビアギャラリーでは、学習支援展示や収蔵品展示を随時行っている。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

「自然のすがた」、「大地のおいたち」、「化石は語る」など、現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ち、自然環境の様子を取り上げている。

テーマ2 原始・古代の人びとの生活

「石器を使った人びと」、「土器を使った人びと」、「米づくりと青銅器の製作」、「大和朝廷と北勢地域」、「古墳の築造と渡来人の活躍」、「律令国家への道」など、旧石器時代から平安時代までの人びとの生活の様子を取り上げている。

テーマ3 “四日市”と“四日市庭浦”の成立

「中世の武士と商人」、「伊勢湾諸湊と四日市庭浦の成立」、「くらしと生活用具」、「いのりと信仰の世界」など、田原美作守忠秀が浜田に築城して街道を城の東に移し、定期的に市が開かれて“四日市”の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも“四日市庭浦”が重要な役割を果たしたことなど、鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を取り上げている。

テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

「近世への胎動」、「宿場と東海道」、「四日市湊と町の展開」など、四日市が東海道五十三次の43番目の宿駅として、また、日永にあっては、伊勢参宮道との分岐点として次第に交通の要衝の地として発展してきた江戸時代の様子を取り上げている。

テーマ 5 四日市港と近代産業の発展

「みなとの整備」、「近代の暮らしと社会」、「地場産業と近代産業」など、四日市港の改修と、製糸、萬古焼、製茶、製網、製油などの地場産業に焦点を当てるとともに、市制を施行し、次第に市域を拡大していく幕末・明治から昭和初期までの近代の様子を取り上げている。

テーマ 6 戦災からの復興と都市の創造

「戦中から戦後のあゆみ」、「港湾・産業都市としての再生」など、甚大な被害をもたらした四日市空襲からの復興と、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がり資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。

また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

(平成17年度開催予定)

特別展等 鈴鹿や富士を翔けた名車たち ~ アイビーに、エレキに、サイケだったあの頃~
太古からの地響き ~ マンモスが古いなかまをつれてやってきた! ~
キャンパスに刻まれた魂 ~ 浅野弥衛の世界~
| 伊勢の茶陶 | 萬古焼 ~ 古萬古・有節、そして四日市へ~
聖武東遊 ~ 大化の功臣と壬申の功臣のはざままで~
第47回 北勢地区高等学校美術展

カビアギャラリー 収蔵品展示

学習支援展示 大昔の四日市 - 弥生時代と古墳時代
四日市空襲と戦時下の暮らし
四日市港の歴史
むかしの暮らし

・教育普及活動

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。こうした博物館の活動を広く市民に知らせ、学校教育との連携をはかるため「博物館ニュース」の発行や、ホームページの充実を図る。

また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。博物館活動の目的のひとつである生涯学習の場の充実のため、解説ボランティアに加えて平成15年度から学校等団体からの見学を対象とした教育ボランティアを新設し、活動の充実を図っている。

また、引き続き古文書解読ボランティアを受け入れ、所蔵資料の解読、整理を継続し、その成果を公開する。

・資料の収集保存活動

最も基本的な機能であり、公立博物館として広く四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。

なお、収集資料上の専門事項について、審議または指導・助言を行うため「資料委員会」を設置している。

・調査研究活動

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行い、『研究紀要』を発行する。

[平成17年度調査予定]市内寺院等調査、各種企画展・特別展調査、市内絵画作品調査など

プラネタリウムの事業

プラネタリウムでは、様々な投射機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会を市内及び周辺各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

・プラネタリウム投映事業

四季の星空と宇宙のテーマを合わせた季節番組や特別番組(生演奏コンサート、CDコンサートなど)により、星座や宇宙・天文の世界を提供する。

保育園、幼稚園、小学校の年齢・学年等に応じた学習プラネタリウムも行っている。

また、天文学の最前線で活躍する講師を招いて天文・宇宙の最近の話題や成果をわかりやすく解説する企画「宇宙塾」の実施や、どなたにもプラネタリウム投映をお楽しみいただくため、解説に字幕を付けたり、赤外線補聴装置の貸出も行っている。

・教育普及活動

「子ども天文教室」、「公開観望会」など幅広く天文普及活動を行う。

・天文展示コーナー

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」とし、古代から現代にいたる宇宙観の歴史をわかりやすくパネルで展示している。また天体写真や実物の隕石も展示して宇宙の神秘にふれるコーナーを設けている。さらにパソコンによる天文シミュレーション、天文教材ビデオ、気象衛星からの画像などを自由に体験できるコーナーを設置している。

・移動天文車「きらら号」

口径20cmの高性能天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内及び周辺各地に出向き観望会を実施する。観望会には天文ボランティア(38名)が交代で参加協力する。次年度以降に備えたボランティア養成講座も実施する。また、天文事象(部分日食など)をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘の宇宙の姿を紹介していく。

博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。

[委員数20名：定例会年2回開催]

・入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合計	備考
11年度	306日	28,052人	33,733人	31,234人	93,019人	特別展1回・企画展7回
12年度	307日	29,966人	41,432人	29,317人	100,715人	特別展3回・企画展6回
13年度	305日	34,758人	44,082人	31,011人	109,851人	特別展3回*・企画展4回
14年度	304日	36,058人	56,309人	30,689人	123,056人	特別展5回
15年度	301日	24,093人	28,413人	34,591人	87,097人	特別展4回
16年度	301日	22,626人	29,498人	32,333人	84,457人	特別展2回・企画展3回

印は前年度からの展覧会を含む。

所在地 〒510-0075 四日市市安島一丁目3番16号 TEL (0593)55-2700(代表)
ホームページアドレス <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/>

開館時間 午前9時30分から午後5時まで(ただし入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
臨時休館日(平成17年度は、4月12日と9月6日～9月15日)

観覧料

区分	博物館常設展示 一人一回につき	博物館特別展示及びプラネタリウム 特別番組一人一回につき	プラネタリウム 一人一回につき
一般	210円	2,100円以内で教育委員会が定める額	530円
高・大学生	160円		370円
小・中学生	100円		200円

上記の料金については、消費税相当額5/105を含む(10円未満四捨五入)

20人以上の団体入館者は8割の額

観覧料の減免 市内及び三重郡の小中学校が学校行事として利用する場合10割、障害者5割、特別展示を観覧した者が常設展示を観覧する場合10割減免

消費税相当額加算免除 中学生以下、障害者

無料入場施設

- ・エントランスホール(1F)・情報コーナー(1F)・ミュージアムショップ(1F)
- ・陶壁(2Fロビー)・天文展示コーナー(5F)

施設使用

室名	午前(9:30~12:00)	午後(13:00~17:00)	全日(9:30~17:00)
特別展示室(4F) 595 m ²			31,500円
講座室(1F) 142 m ²	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー(2F) 94 m ²			2,100円

観覧料等を徴収する場合は5割増し。

博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

商業宣伝、営業行為には使用できない。

図 書 館

平成17年度運営方針

市民の文化生活の向上に寄与するため、資料の収集整備とサービスの質的向上、施設等の改修を図り、生涯学習時代にふさわしい「市民の図書館」づくりに努める。

市民の多様な学習要望に応えられるよう、適切な蔵書の整備充実に努める。

人権・同和関係図書・資料の収集・提供に努める。

本館窓口での利用者サービスの円滑化に努め、レファレンス業務の充実に努める。

自動車文庫の駐車場等の見直しを図り、地域利用者へのサービスに努める。

点字・録音資料室の整備を図り、視覚障害者へのサービスに努める。また、点字・録音資料のデジタル化を推進する。

開架書架の一角に「テーマコーナー」を常設し、毎月テーマに関連した資料を配布し、蔵書の広報に努める。

講座・講演会等の文化行事を開催し、図書館利用者の拡大に努めるとともに、子ども読書推進に向け、児童室業務の強化に努める。

三重県図書館情報ネットワークなどインターネットを活用した利用者サービスに努める。

月別事業計画表

月	事 業 名
4	子ども読書の日読み聞かせ（16日）
6	特別整理期間（6月13日～24日） 広報誌「酒泉」 19を刊行
7	夏休み絵本の読み聞かせ・夕すずみおはなし会
8	メインテーマ・コーナー設置（3月） 夏休みおはなし会・絵本劇場・手づくり紙しばい講座 子ども点字教室（8月19日） 地域学習講座・第2話（8月28日）
9	市立図書館に関する来館者アンケート開始（9月1日～9月4日） インターネット予約開始（9月29日） 「読書に関するエッセー」作品募集
10	手づくり紙しばい講座作品展 点訳基礎講座・音訳基礎講座（11月）
11	秋の拡大版絵本の読み聞かせ
12	クリスマスおはなし会 「読書に関するエッセー」表彰式
1	絵本劇場
2	読み聞かせ入門
3	春休みおはなし会

施設の概要

- ・敷 地 4,738.01m²
- ・構 造 鉄筋コンクリート造 地下 1 階、地上 3 階
- ・開 館 昭和48年7月10日
- ・建物面積 延4,147.42m²

1 階	一般成人室	新聞雑誌コーナー15 席・参考図書コーナー8 席・軽読書コーナー他 30 席
	児童室	閲覧席 66 席・畳の間
	点字・録音資料室	
	資料整理室	
	警備員室	
	閉架書架	1 層
	自動車文庫書庫	移動式書架
2 階	一般閲覧コーナー	閲覧席 73 席・パソコン専用席 4 席
	地域資料室	閲覧席 12 席
	視聴覚ホール	座席 100 席
	丹羽文雄記念室	閲覧席 8 席
	閉架書架	2 層・3 層
3 階	学習室	座席 180 席
	一般研究室	座席 32 席
	スナックコーナー	座席 38 席・図書館不要図書リサイクルコーナー常設・飲食コーナー
	会議室	座席 24 席
	研修室	座席 12 席
	倉庫	

業務内容

開 館 時 間	火・水・木・金曜日は午前 9 時30分～午後 7 時 土・日曜日及び祝日は午前 9 時30分～午後 5 時
休 館 日	毎週月曜日、毎月第 2 と第 4 火曜日、特別整理期間(6 月中の約 1 0 日間)、 年末年始
館 外 貸 出	市内在住、在勤、在学者及び三重郡三町といなべ市、東員町住民を対象として 1 人10冊以内で貸し出した日から起算して15日以内
自 動 車 文 庫	市内に 9 2 ヲ所の駐車場を設け、 2 台の自動車文庫で月 1 回巡回し、 1 人 1 0 冊以内の貸出で、翌月の巡回日まで利用できる
資 料 複 写	図書館資料を要望に応じて複写 (複写料 1 枚10円)
資 料 相 談	電話、文書、来館のいずれでも照会可
展 示 資 料	丹羽文雄他郷土出身作家の 関係資料

利用状況

区分		年度	14年度		15年度		16年度	
開	館 日 数		264		275		274	
入 館 数	年間総数		277,079		274,510		293,347	
	1日平均		1050		1,006		1,071	
登 録 者 数	年度末数		85,719		90,807		96,568	
	一般成人		72,484		77,811		83,573	
	児 童		13,235		12,996		12,995	
	登録率(%)		28.9		30.5		32.4	
貸 出 冊 数	貸出総数		798,394		871,989		862,024	
	本 館		727,052		796,497		787,611	
	自動車文庫		65107		68,201		66,388	
	点字・録音資料室(冊-タイトル)		6,235	1,206	7,291	1,293	8,025	1,366
	録音図書		5,946	1,079	7,157	1,220	7,773	1,322
	点字図書		289	127	134	73	252	44
	市民1人当り貸出数		2.7		2.9		2.9	
	日曜日の1日平均貸出数		3,663		3,779		3,862	
	1日の最多貸出数		4,683		5,309		5,110	
調 査 相 談 件 数	総 数		7,724		5,626		5,140	
	口 頭		7,106		5,339		4,986	
	電 話		613		267		152	
	文 書		5		20		2	
リ ク エ ス ト	総 数		16,329		19,601		21,512	
	本 館		14,423		17,189		18,228	
	自動車文庫		1,906		2,412		3,284	
複 写	件 数		5,776		5,563		5,198	
	枚 数		36,571		34,723		37,439	
人 口 (1 0 月 1 日 現 在)			296,651		297,284		298,137	

図書購入費（当初予算）の推移

(単位:千円)

区分	年度	15年度	16年度	17年度
総 額		147,683	148,687	131,563
図書費		26,758	24,183	24,728
その他資料費		3,804	3,535	3,545

蔵書

図書区分		受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人		8,948	4,544	4,404	255,895
	成人図書	7,670	4,412	3,258	210,222
	地域資料	590	28	562	17,151
	参考	220	89	131	9,610
	外国語図書	35	5	30	1,819
	製本雑誌	143	0	143	3,702
	人権啓発図書	124	10	114	6,290
	人権関係施設	166	0	166	7,101
本館児童		2,944	623	2,321	68,085
	児童図書	2,067	621	1,446	65,516
	児童紙芝居	59	1	58	1,160
	人権啓発図書	15	1	14	606
	なのはな文庫	803	0	803	803
点字・録音資料					
点字	タイトル数	24	0	24	1,447
	巻数	84	0	84	5,645
録音	タイトル数	53	61	-8	3,105
	巻数	335	407	-72	12,145
自動車文庫		2,321	1,441	880	46,737
	成人図書	1,727	1,015	712	27,532
	人権啓発図書(成人)	12	1	11	948
	児童図書	570	423	147	17,376
	紙芝居	1	2	-1	781
	人権啓発図書(児童)	11	0	11	100
総計		14,632	7,015	7,617	388,507

その他資料	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
丹羽文雄資料	9	0	9	8,728
その他郷土作家資料	50	0	50	1,299
地図	1	0	1	2,089

市民スポーツ

市民がスポーツ、レクリエーションに親しみながら、健康で明るい社会生活を営めるよう、あるいはまた、市民一人ひとりが意欲的に健康増進と体力づくりを進められるよう各種事業を計画し、その推進をはかっている。

また、指導者の資質の向上をはかるため、各種講習会を実施している。

各種大会

体育指導委員関係行事	四日市市民スポーツフェスタ他 5 大会
レクリエーション協会関係行事	レクリエーション大会他 7 大会
少年スポーツ団関係行事	スポーツ少年団大会他 7 大会
体育協会関係行事	総合駅伝大会他10大会

各種指導者講習会

3 講習会	393名参加
-------------	--------

各種スポーツ教室

20教室	1,185名参加
------------	----------

市営体育施設

施設名	所在地	概要
四日市ドーム	大字羽津甲5169 TEL 30 3131 FAX 30 3133	収容人員.....約10,000人(補助用椅子使用) 競技場規模...9,707 m ² (124.45m×78.0m) 種目.....サッカー 1面 少年サッカー 2面 ハンドボール 4面 運動会(200mトラック) ソフトボール 2面 少年野球 2面 テニス・ソフトテニス12面 アメリカンフットボール 1面 ホッケー 1面 ドッジボール 4面 ゲートボール12面 グラウンド・ゴルフ8ホール2面 フットサル(ミニサッカー) 4面 式典 講演会 展示場 見本市 コンサートなど 各種スポーツ器具 音響機器完備
中央緑地運動施設	日永1丁目3-21	緑地公園面積285,000m ² (遮断緑地)
中央緑地体育館	TEL 45 4111(代) TEL 45 4112	収容人員.....5,616人(1階移動席3,000人 2・3階固定席2,616人) 競技場規模...1,936.40m ² (51.5m×37.6m) 各種室内スポーツ種目設備完備 種目.....バスケット 2面 テニス 3面 バドミントン10面 バレーボール 3面 ハンドボール 1面 卓球21台 レスリング 体操 舞台規模.....168m ² (24m×7m) 調光 照明設備完備
中央緑地第2体育館		収容人員.....144人(2階固定席) 競技場規模...1,037.91m ² (35.79m×29m) 種目.....バスケット 1面 テニス 1面 バドミントン 6面 バレーボール 2面 ハンドボール 1面 卓球12台
中央緑地トレーニング場		規模.....171m ² (管理棟に併設) 一般的サーキット・トレーニング
中央緑地陸上競技場		全天候 第2種公認競技場 収容人員.....10,000人(メインスタンド 2,000人 土盛芝生スタンド 8,000人) 競技場規模...18,879.9m ² トラック一周400m 直走路140m・9コース 各種フィールド種目施設完備 写真判定装置
中央緑地水泳競技場	TEL 45 4117	自動審判計時装置完備 収容人員.....1,800人(メインスタンド1,800人) 競技場規模...50Mプール(50m×22m 9コース 水深1.4m~1.9m) 25Mプール(25m×15m 7コース 水深1.2m~1.4m) 飛込プール(20m×18m 飛板 1m3m 高飛 5m7.5m 10m 水深 3m~5m)
中央緑地野球場		収容人員.....1,500人(土盛芝生スタンド) 競技場規模...11,909.4m ² 両翼91m センター115m スコアボード SBO機 放送設備 ナイター設備・照明塔 4基(メタルハライド1KW126灯) 内野500LX 外野300LX
霞ヶ浦緑地運動施設	大字羽津甲5169 TEL 33 1865	緑地公園面積275,000m ² (遮断緑地)
霞ヶ浦体育館		競技場規模...1,290m ² (30m×43m) 各種室内スポーツ種目設備完備 固定観客席108人 種目.....バスケットボール 2面 バレーボール 2面 テニス 1面 ハンドボール1面 バドミントン6面 卓球10台 体操
霞ヶ浦弓道場	TEL 31 6182	競技場規模...240.30m ² (射場・的場) 的 5ヶ所 距離25m
霞ヶ浦第1野球場		収容人員.....10,181人(メインスタンド1,993人 内野スタンド2,812人 外野土盛芝生スタンド5,376人) 競技場規模...12,354.9m ² 両翼91.5m センター116m ナイター設備・照明塔 6基(メタルハライド 1KW 120灯 高圧ナトリウム660W120灯) 内野975LX 外野520LX

施設名	所在地	概要
霞ヶ浦第2野球場	TEL 31 6182	競技場規模...11,250㎡ 両翼90m センター115m スコアボード SBO機 放送設備
霞ヶ浦プール		競技場規模...50Mプール (50m×25m 12コース 水深1.2m~1.4m) 25Mプール (25m×15m 7コース 水深1.0m~1.2m) 流水プール (715㎡ 巾5.5m 深さ1m 1周125m) 幼児子どもプール (277㎡ 深さ25cm~65cm)
霞ヶ浦サッカー場		収容人員.....3,000人 (土盛芝生スタンド) 競技場規模...10,716.9㎡(83.4m×128.5m) クラブハウス(344.49㎡)放送設備 ナイター設備・照明塔 4基 (平均照度150LX)
霞ヶ浦運動用舟艇場		収容規模.....艇庫18艇 係留30艇 クラブハウス (52㎡) 艇庫156㎡
三滝公園運動施設	新浜町17 23 TEL 31 6261	公園面積.....59,000㎡ (総合公園)
三滝テニスコート	TEL 32 6336	競技場規模...11,226.53㎡ クレイコート10面 砂入り人工芝コート 4面 4面照明設備完備 放送設備
三滝武道館		競技場規模...1,179.02㎡ 柔道場 2面 (272畳) 剣道場 2面 (12m×12m)
三滝相撲場		競技場規模...171.08㎡ 屋形付土俵 1面 固定観客席288人
松原公園運動施設	松原町4 15	公園面積.....23,000㎡ (近隣公園)
松原テニスコート	TEL 64 1049	競技場規模...1,721㎡ クレイコート 2面 更衣ボックス
松原野球場		競技場規模...9,000㎡ 両翼85m センター101m スコアボード
城北テニスコート	城北町8番9号 TEL 51 0374	総面積.....4,191.35㎡ 競技場規模...2,727㎡ 砂入り人工芝コート 4面
北条公園運動施設 北条野球場	北浜町15 3	公園面積.....22,800㎡ (運動公園) 収容人員.....1,500人 (メインスタンド500人 土盛芝生スタンド1,000人) 競技場規模...11,571㎡ 両翼90m センター113m スコアボード SBO機 放送設備
鈴鹿川緑地運動施設	内堀町地先	緑地公園面積...116,000㎡ (河川敷緑地公園)
鈴鹿川ラクビー・サッカー場		競技場規模.....7,344.7㎡ (60.7m×121m)
鈴鹿川多目的運動広場	河原田地先	総面積.....24,818.64㎡ (河川敷)
鈴鹿川河原田野球場		競技場規模.....10,046.44㎡ 両翼86m センター100m
鈴鹿川河原田ソフトボール場		競技場規模.....5,070.00㎡ 両翼65m センター77m
鈴鹿川グランドゴルフ場		競技場規模.....9,702.20㎡ グラウンドゴルフ 8ホール 3コース
北部墓地公園運動施設		公園面積.....40,784㎡ (墓園)
たれ坂サッカー場	大矢知町大沢 1981-25	競技場規模.....7,140㎡ (105m×68m) グリーンサンド 1面 クレイ 1面 放送設備 シャワー室4戸
垂坂ソフトボール場		競技場規模30,784㎡ ソフトボール場 2面 放送設備 シャワー室4戸
温水プール	昌栄町21 21 TEL 51 5305	敷地面積.....3,532.8m 競技場規模.....室内25Mプール (25m×15m 7コース 水深1.2m~1.4m)
楠プラザ運動施設 体育館		敷地面積.....75,500m 競技場規模.....13,200㎡
多目的運動場	楠町北五味塚 1215-1 TEL 97 - 7117	アリーナ競技場規模...1,152㎡ (32m×36m) 各種室内スポーツ種目設備完備 固定観客席150人 種目.....バスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン6面 卓球10台 武道場競技場規模...240.25㎡ (15.5m×15.5m) 空調設備有り その他施設.....ミーティングルーム 84㎡、ロッカー室、シャワー室、 ロビー・ラウンジ等
テニスコート		競技場規模...2,640㎡ 砂入り人工芝コート 4面 4面照明設備完備
ゲートボール場		競技場規模...1,030㎡ コート 2面

青少年行政

基本目標

青少年に豊かな体験の場を提供することにより、自ら学ぶ能力をはぐくみ、人間性豊かでたくましく生きる青少年の育成を図る。

基本方針

1. 心豊かでたくましい青少年の育成に努める
2. 健全な家庭づくりを推進する
3. 健全育成についての市民啓発と事業推進に努める
4. 健全育成のための環境整備に努める
5. 非行等問題行動防止活動を推進する
6. 青少年行政を推進する

主要施策

1. 心豊かでたくましい青少年の育成に努める
 - (1) 青少年団体活動への参加を奨励する。
 - (2) 青少年団体のリ・ダ・の養成に努める。
 - (3) 青少年団体の指導者育成と資質の向上を図るための研修を充実する。
 - (4) 少年自然の家等の利用を促進し、自然体験や集団活動を奨励する。
 - (5) コーディネーターを配置し、中高生を中心としたボランティア活動を支援する。
 - (6) 子どもと若者のための居場所づくり事業を推進する。
2. 健全な家庭づくりを推進する
 - (1) 青少年の健全育成への関心と家庭教育の重要性の認識を深めるため、講演会や講座を実施する。
 - (2) 地区市民センタ - 等において、家庭教育講座の学習の場と機会を提供する。
 - (3) 家庭教育手帳の配布と活用の推進に努める。
 - (4) 地域での子どもの自然体験や、子育てに関する情報提供を行う「子どもセンタ - 」活動を展開する。
3. 健全育成についての市民啓発活動と事業推進に努める
 - (1) 心豊かな青少年の育成に関する市民への広報・啓発活動を推進する。
 - (2) 青少年育成市民会議及び各種団体と連携し、青少年健全育成のための市民意識の高揚を図る。
 - (3) 青少年育成の事業を企画し、趣旨の徹底を図る。
4. 健全育成のための環境整備に努める
 - (1) 地域の子ども広場の整備に努める。
 - (2) 下校後、保護者が家庭にいない児童を対象に行う放課後児童健全育成事業に支援助成する。
 - (3) 青少年の健全育成・家庭づくり等を推進する地区推進団体への支援を行う。
 - (4) 地域ぐるみで子どもたちを見守り育てる「こどもをまもるいえ」の組織の充実と育成を図る。

5. 非行等問題行動防止活動を推進する

青少年の非行等問題行動を未然防止、早期発見するため、補導活動や相談活動を実施すると共に、関係機関・団体と連携し、環境浄化活動や啓発活動に取り組んでいる。

(1) 街頭補導・相談活動の推進

街頭補導活動

- ・中央補導員と特別補導員による活動(中央補導員143名、特別補導員89名)
- ・補導回数468回、補導少年数501名、(男290名、女211名)(平成16年度実績)

特別補導・広域補導

- ・大四日市まつり、年末年始等の特別補導 5 回
- ・三泗地区内の広域補導 7 回

補導員研修会

- ・補導員の資質の向上と補導員相互の連携・強調を図る

相談活動

- ・職員による面接相談 13 件、電話相談 57 件(平成 16 年度実績)

(2) 地域の相談・補導活動の推進

青少年相談員による活動(青少年相談員51名)

- ・学校、関係行政機関及び地域青少年育成団体と密接な連携を図り、継続して指導を行う必要がある青少年やその家族の相談・指導・助言活動を実施する。

青少年相談員研修会

地域補導及び広域補導活動

- ・地区補導代表者会(67 ロック33団体)
- ・三泗地区広域補導協議会(1市3町3警察署、補導員33名)

(3) 環境浄化活動

- ・青少年に有害な環境(有害図書、公衆電話内の有害広告物)の調査と浄化活動
- ・危険箇所の調査と事故防止活動(危険標柱の設置)

(4) 啓発活動

- ・「社会を明るくする運動」等、非行防止運動への協力
- ・地区懇談会、PTA等の研修活動への協力と広報活動の推進

(5) 関係機関・団体との連携

- ・四日市市中央補導員協議会、四日市市地区補導代表者会、三泗地区広域補導協議会との連携
- ・四日市南・北・西警察署、北勢少年サポートセンター等との連携

6. 青少年行政を推進する

- (1) 青少年行政の基本的な計画について検討し、関係部局との調整を図る。
- (2) 青少年問題に関する総合的施策について調査研究し、連絡調整を図る。

青少年健全育成施設

1. 少年自然の家の設置目的（社会教育施設）

当施設は、豊かな自然の中で集団宿泊活動、野外活動、自然・環境学習活動、芸術活動などの様々な体験活動を通して、問題解決能力、豊かな人間性、たくましい体力を身に付けた青少年を育成することを目的として、昭和62年に設置された社会教育施設であり、本年度は開設19年目を迎えた。

2. 教育目標

- 『自然の中で、自分を磨き、友達の輪を広げよう』
- （自然の中で） 感動する心、共生する心を育てる。
 - （自分を磨く） 自己判断力、自主性、自律性を育てる。
 - （友達を広げる） 協調性、思いやりの心を育てる。

3. 運営方針及び事業

（1）青少年の主体的な体験活動の推進・支援

主催事業、自然教室・各種団体受入れ事業、調査研究・職員研修事業、各種刊行物の発行、各種メディアにおける啓発活動

（2）社会教育と学校教育の連携の支援・促進

自然教室支援事業、里山保全事業、体験活動実技講習会、関係機関との連携・協力

（3）家庭教育の充実と促進

主催事業

（4）ボランティアの活用・養成

主催事業、協力者主催事業支援、協力者自然教室支援、施設ヘルパー推進事業、リーダー研修受入れ事業、教育実習生受入れ事業

（5）施設・設備の充実

ふれあいの森整備事業、植物・里山保全活動、写真資料・書籍の充実、ボイラー・冷温水発生器の修繕、経年劣化設備改修、館内改装・掲示の工夫

4. 主催事業

（1）テーマ

『挑戦、感動、発見』

（2）全体目標

参加対象、季節を考慮した多彩な体験プログラムにより、感動する心、自然と共生する心、自己判断力、自主性、自律性、協調性、思いやりの心を育成する。

今後の生活に生きて働くような、価値ある体験活動を通して、一人ひとりに自分や友達を見つめ直す力を育成する。

（3）種類別事業

小・中学生を対象にした事業

アドベンチャースクール、わくわくキッズチャレンジ ・ ・ ・ 、ワイルドキャンプ、スペースキャンプ、ウインターフェスタ、子ども自然塾 ・ ・ ・ ・

家族・グループを対象とした事業

「野山の幸を味わおう」、「森の中でテント泊」、「秋と遊ぼう」、「冬の森とおもちつき」

一般・教職員を対象とした事業

「アウトドアセミナー ・ ・ ・ 」

小・中学生、一般を対象とした事業
「自然の家里山クラブ」(年間4回)
地域との交流事業
「水沢歴史探訪」

5. 施設概要

(1) 所在地 四日市市水沢町字大谷1423 2

(2) 本館・分館・星の広場

	本館 そよかぜ、こもれび	分館、せせらぎ	星の広場
宿 泊 定 員	177人	105人	
各 施 設	1階 事務室、医務室、 会議室、浴室、総合研修館 兼体育館 2階 宿泊室、食堂、 リーダー室 3階 宿泊室、研修室、 リーダー室	3階 研修室、大広間、 創作室、乾燥室、 リーダー室等 3階 宿泊室、講義室、 リーダー室等	芝 生 広 場
建 築 面 積	3,066㎡	1,339㎡	10,000㎡
構 造	鉄筋コンクリート3階建て	鉄筋コンクリート2階建て	芝生広場
建 設 年 度	昭和62年	昭和48年	平成4年
建 設 費	9億7,010万円	1億7,650万円	2億940万円

(3) その他の施設

キャンプ場(収容人数 160人、テント 20張り)、ファイヤー場、ふれあいの森、野外炊事場

6. 利用について

(1) 利用の約束

自分のことは自分でします。
友達に迷惑をかけません。
次に使う友達のことを考えます。

(2) 利用できる人

主催事業への参加者
引率者及び活動計画を有する8名以上の団体
小・中学校団体、高校・大学団体、青少年団体・その他の団体
特に、教育委員会が認めた団体

(3) 休業日

毎週月曜日。
国民の祝日に関する法律に規定する休日。
年末年始。(12月28日～1月4日)

(4) 使用申請

使用日の10日前までに申請書により申請する。
申請書の提出は、使用日の属する6か月前の1日からとする。
7・8分月は、1・2月に抽選会を行う。

(5) 少年自然の家協力者会議

少年自然の家主催事業及び各種団体への技術指導を行うボランティア組織で、次の技術内容を
提供する。

自然観察 星の観察 登山・ハイキング キャンプファイヤー・集団ゲーム 野外炊事
ウォークラリー・オリエンテーリング ネイチャーゲーム 草木染め 創作活動
自然保護活動 その他

(6) 利用状況

施設 年度	本館・分館		キャンプ場		市民広場		合 計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
14年度	189	15,192	44	2,446			233	17,638	14,344	3,294
15	202	16,903	32	1,745			234	18,648	14,331	4,317
16	219	18,744	41	1,905	28	2,717	288	23,366	16,625	6,548

平成16年度から、キャンプ場と市民広場（利用申請の数）の利用を区分した。

人 権 教 育

人権教育

本市がこれから進めようとする人権教育は、これまでの同和教育の実践が積み上げてきた理念や成果を踏まえ、世界の人権教育に学びつつ、自分自身、家庭、職場、地域と具体的に結びついたものを取り上げ、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解消を目指し、人権が普遍的に存在しうる社会の構築を図ることです。そのためには、主体的に人権教育を推進する人づくりと多様な学習の場の提供などを推し進めます。

《学校人権教育》

人権を尊重し、差別をなくす実践力の育成

子どもたちが同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を自らの問題として自覚し、生活のなかにある課題の解決を図っていくために、学校や園のあり方を人権尊重の視点で見直していく必要がある。さらに、この視点から教育目標や年間指導計画の策定に努め、あらゆる差別をなくす実践力につながる人権教育を推進していくことが求められる

個々の自主性・自立性を基盤として、差別を見抜く力、差別を許さない心情、差別をみんなで解消する意欲と実践力を育成する。

家庭との連携を深め、子どもたち一人ひとりの実態とその背景から課題を明らかにし、課題解決に向けて支援する。

子どもたちの課題意識に基づく学びが生き方と結びつき、自らの生活へつなげていける実践力となる人権を視点にすえた総合的な学習を推進する。

教職員があらゆる差別を許さない人権意識を身につけ、園・学校や地域における人権教育推進の担い手としての自覚と力量を高める。

人権教育推進の校内研修体制の充実と地域内の学校や園での実践の交流を推進する。

人権教育に関する研修会や研究会に積極的に参加し実践力を高める。

《社会人権教育》（平成17年度から総務部人権・同和課で所管）

人権尊重の地域形成を行うため自らの学習体制充実と学習指導者の育成

市民が同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を自らの問題として自覚し、生活の中にある課題の解決を図っていくために、地域社会のあり方を人権尊重の視点で見直していく必要がある。この視点を自らの学習によってより高めるため、学習体制充実と地域での指導者の育成が求められている。

個々の自主性・自立性を基盤として、差別を見抜く力、差別を許さない心、差別をみんなで解消する意欲と実践力を育成する。

地域社会の実態とその背景から課題を明らかにし、課題の解決に向けて支援する。

地域住民の課題意識に基づく学習が生き方と結びつき、豊かな地域社会の構築へつなげていける実践力となる、人権を視点にすえた総合的な自主的学習を推進する。

人権教育推進の地域内研修体制の充実と他地域との実践の交流を推進する。

人権教育に関する研修会や研究会の場を提供し、積極的な参加を促し、実践力の向上を推進する。

すべての市職員が、自分自身の人権意識を常に見直し、人権や差別に対する正しい認識を深め、人権尊重に徹する信念と情熱をもって差別解消に取り組む。

地域での人権教育に関する指導者の育成のため、地域住民や市職員への学習・研修の充実を行う。

事業費（当初予算）

（単位：千円）

年 度	学校教育	社会教育	施設・一般経費	合 計
平成8	44,438	35,720	5,535	85,693
9	42,889	38,255	5,695	86,839
10	43,186	40,824	5,687	89,697
11	41,652	36,645	5,573	83,870
12	39,825	36,350	7,420	83,595
13	38,939	32,567	29,135	100,641
14	20,717	23,024	7,693	51,434
15	17,378	18,158	7,663	43,199
16	15,239	11,289	11,170	37,698
17	16,564	0	1,660	18,224

平成17年度社会教育費は総務部人権・同和課へ

人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	敷地 面積㎡	建物 延べ㎡	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 TEL51-7609	S50.11.7 増築 H15.2.24	RC造 2F	697.52	250.50	1階 事務所、料理実習室、和室 2階 ホール、図書室
赤堀児童 集会所		S52.3.31 増築 H60.3.29	RC造 2F			558.00
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 TEL46-2803	S48.9.30 増築 H15.3.14	RC造 2F	864.00	253.26	1階 事務所、料理実習室、和室2 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31 増築 H3.3.31	S造 平屋			258.17
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 TEL39-0909	S48.3.15	RC造 2F	1650.00	301.00	1階 事務所、相談室 2階 教養室、図書室
小牧児童 集会所		TEL39-1287	S50.3.31			S造 平屋
人権プラザ 神前	寺方町 2281 TEL26-0840	S50.4.30	RC造 2F	756.58	309.18	1階 事務所、料理実習室、相談室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所		寺方町 2251 TEL26-5022	S52.8.31 増築 S60.3.30			S造 平屋
神前 柔道教室	曾井町 494-3 TEL26-4236	S52.5.25	S造 平屋	380.14	204.39	柔道場

教育センター

施設の概要

施設目的	研究，教職員研修，教育相談，不登校対策，情報教育，視聴覚教育，広報普及，及び視聴覚ライブラリーの事業を実施して，学校・園の教育の振興を図るとともに，広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館6,7,8F 北条町11番9号 第1適応指導教室(第ふれあい教室)，日永東一丁目2 28 第2適応指導教室(第2ふれあい教室)
施設	事務室・所長室 105.3 m ² 相談支援センター 214.8 m ² 情報教育室 100.34 m ² 視聴覚ライブラリー 177.66 m ² 研究室 47.72 m ² その他研修室など 1,645.13 m ² 第1適応指導教室 890.47 m ² 第2適応指導教室 264.54 m ² 合計 3,445.96 m ²

業務内容

事業名	内容
研究	<p>課題研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 『部落史学習地域資料 四日市の部落史』の効果的な活用法に関する研究 中学校理科における絶対評価の進め方に関する研究 小学校算数科における絶対評価の進め方に関する研究 小学校における情報モラル教育の在り方について 特別支援教育における相談支援体制の在り方に関する研究 不登校児童生徒の支援に関する研究 <p>嘱託研究校・園による研究推進 八郷西小・西陵中・四日市幼・県小・三重北小・富田中 教育情報ワーキング 教育図書、研究資料の整備、提供 研究報告書、研究資料、所報、ニュースの刊行</p>
教職員研修	<p>各種研修会 教科等研修会，人権・同和教育研修会，学校単位研修会，情報教育研修会，共催研修会，体験研修会，管理職研修会，担当者研修会，特別支援教育研修会，乳幼児教育研修会，学校経営評価・法令法規研修</p> <p>グループ研修.....幼稚園(4グループ) 教職員の研修派遣.....先進校・園における研修 三泗教育研修運営委員会.....研究協議会活動，教育研究大会，教育講演会</p>
教育相談	<p>発達や行動等に課題を持つ子どもと，その保護者，教師への相談支援 (来所相談，学校・園への訪問相談，電話相談，他の相談機関との連絡調整) 「ふれあい教室」での不登校児童生徒に対する学校復帰を目指した支援 嘱託精神科医による相談員等への指導助言 臨床心理士による治療的なかわりや諸検査の実施 学生ボランティア(ふれあいフレンド)による不登校児童生徒への支援活動</p>
情報教育	<p>教育情報通信システムの活用支援 情報教育推進のための支援 情報教育推進のための調査・研究・支援</p>
視聴覚センター	<p>視聴覚実技研修会(ビデオカメラ、パソコン) 映画鑑賞会(「親と子の映画会」) 視聴覚ライブラリー-16 ミリフィルム，ビデオテープやプロジェクターなどの貸出し 研究会支援(ビデオ研究会，パソコン研究会)</p>